

PBS.S
POWER BOOST SYSTEM・SUPER

パワーブーストシステム・スーパー
バーデックス4WD/SUVマフラー

Vertex 4WD/SUV

(PBS.S搭載)

【GDS-304】

- 価格:13万2000円(P0)/14万3000円(BL)
- 構成:左サイドダブル出し(1ピース)
- 対応:ランドクルーザー250・ガソリン/ディーゼル車共通(※)
- テール:105×70オーバーハル
ポリッシュ(P0)/ブルー発色(BL)
- ※モデルスタエアロ装着車、純正ヒッチ付車にも対応。



ガナドール製品装着で、街中での軽快感がアップ、高速時でもひとつ上のギアで走るシーンが増えたのが印象的だった。

純正比DATA(ガナドール計測値)

パワーデータ		
ノーマルマフラー	162.4ps/5160rpm	
GANADORマフラー	169.7ps/5170rpm	+7.3ps

トルクデータ		
ノーマルマフラー	23.6kgf・m/4250rpm	
GANADORマフラー	25.6kgf・m/4040rpm	+2.0kgf・m

※トルク最大差は3140rpm時に+2.7kgf・m

燃費改善率 +14.5%UP

比較試乗したのは2.7Lのガソリン車で、トルクは発進時からすぐノーマルを上回り、2500～4000rpmといった実用域でとりわけ大きな“差”を見せつける。トルクの最大差は2.7kgf・mでその時の回転数は3140rpm。パワーもすべての回転域でノーマルの数値を上回り続ける。確かなトルク、パワーの向上により、運転効率も良くなり燃費の改善にも繋がる。



最新サイド出し仕様は一体感のあるオーバーハルデュアル形状で、テールのGDロゴも好印象。テール部はポリッシュとブルー発色テールを設定。トレーラーなどのけん引時にも最適。サイド出し含め、全てのマフラーシリーズでモデルスタエアロに対応。



詳細は
コチラ

【充実のランクル250用マフラーはモデルスタエアロにも対応】



【GVS-062】

- 価格:9万9000円(P0)/11万円(BL)
- 構成:左ダブル出し(1ピース)
- テール:φ98サークル(ポリッシュ/ブルー発色)

スポーティなサークルダブル出し仕様は、ガソリンで+7.0ps、ディーゼルで+9.3psアップを実現。ガソリン車のトルク最大差で+2.8kgf(3060rpm)を実現する。



【GVS-061】

- 価格:7万7000円(P0)/8万2500円(BL)
- 構成:左シングル出し(1ピース)
- テール:φ112サークル(ポリッシュ/ブルー発色)

スポーティなルックスとインパクトのあるリアスタイルを実現するφ112サークルのシングル出し。テールの仕様はポリッシュ、ブルー発色から選択可能。



【GDS-175】

- 価格:11万円
- 構成:左ダブル出し(1ピース)
- テール:120×90スクエア(ポリッシュ仕上げ)

左側スクエアW出しテール仕様。サイド出し仕様も含め、早い段階でパイプを分岐させ、サイレンサーを2つレイアウトしている。コレも性能向上を狙っているのだ。



【GDS-174】

- 価格:22万円
- 構成:左右4本出し(2ピース)
- テール:120×90スクエア(ポリッシュ仕上げ)

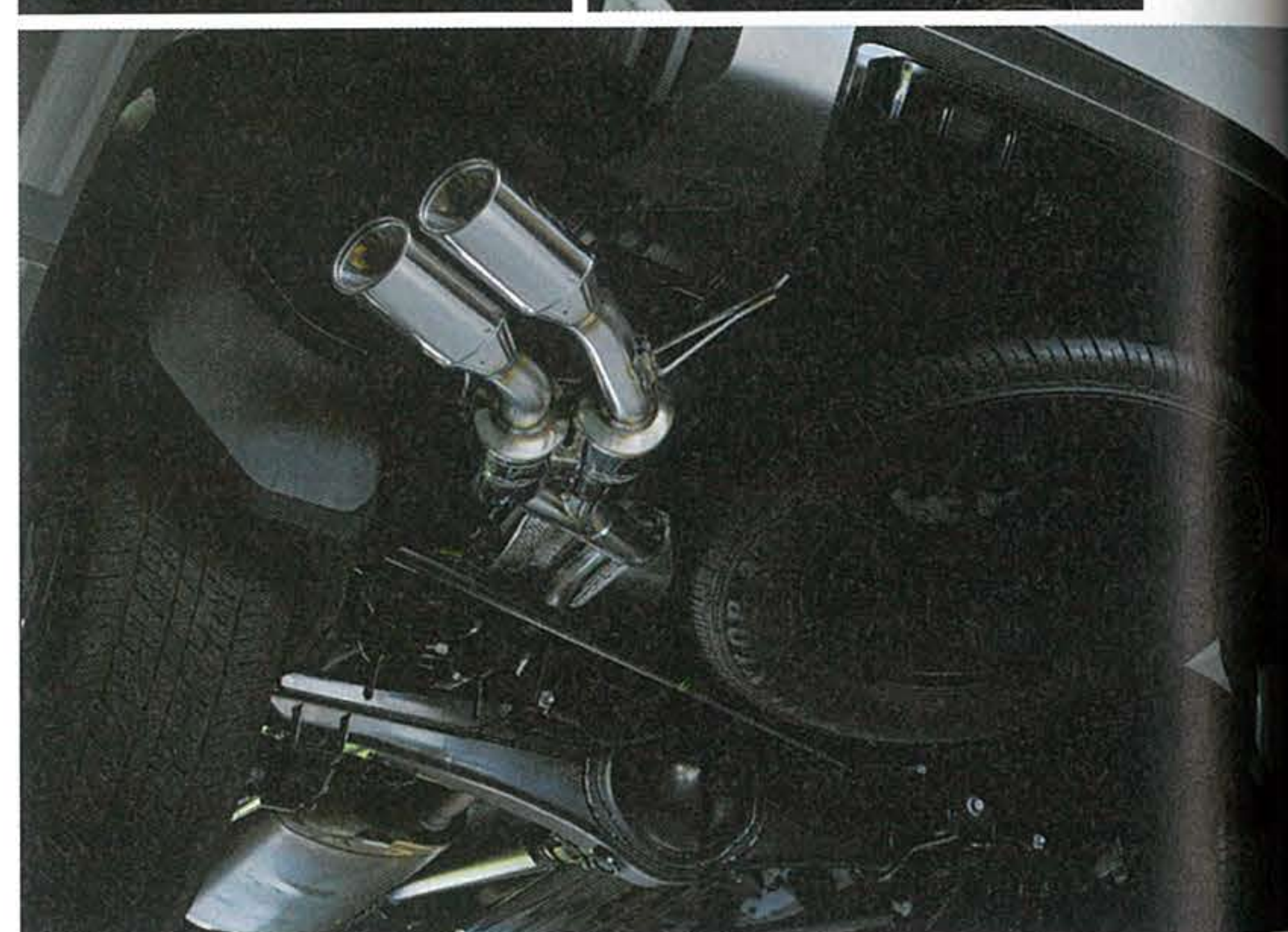
迫力のあるリアスタイルを演出するスクエア2×2本出し仕様。ガソリン車でトルク最大差4.1kgf・m、パワー+9.1psを実現するなど、高い性能を発揮する人気モデル。



GANADOR

◎株式会社マツ・ショウ ☎048-935-1130
https://ganador.co.jp

名門が誇る超高性能マフラーシリーズ 確かな「質」を備えた 魅惑のサイド出し



グラスウールレス構造を採用した専用設計のサイレンサー、テールエンドに内蔵されたスパイラルフィンなど、機能美に優れる独自の特許技術「PBS.S(パワーブーストシステム・スーパー)」を搭載。

チューニングパーツとしてのマフラーは、規制強化とともに「難しくなった」と言われて久しい。とりわけ自然吸気エンジン(NA)はその傾向が強く、中間パイプやエキマニなどゴツゴツ交換する場面ならまだしも、リアピースだけとなるとなおさら……。そんなマフラー受難の時代にあっても、パワー、トルクの性能アップに貢献し、燃費まで改善するのがガナドール独自の技術「PBS.S」を搭載したスポーツマフラーの真骨頂。

今回比較試乗したランクル250は、とりわけガソリンエンジン(2.7L)はパワーに注目がつく。チューニングパーツとしてのマフラーは、規制強化とともに「難しくなった」と言われて久しい。とりわけ自然吸気エンジン(NA)はその傾向が強く、中間パイプやエキマニなどゴツゴツ交換する場面ならまだしも、リアピースだけとなるとなおさら……。そんなマフラー受難の時代にあっても、パワー、トルクの性能アップに貢献し、燃費まで改善するのがガナドール独自の技術「PBS.S」を搭載したスポーツマフラーの真骨頂。

ブラッド時代から「物足りない」との声もあり、その上車重が重い。そんな250だからこそ、ガナドールのPBS.S搭載マフラーによる性能アップには期待が高まる。数値を見てもわかるが、実際に運転した実感としては、ガラリ一变という表現が相応しい!! 発進時からもたつくことがなく、いたって軽快。ノーマル状態では、回転数ばかりが上がり、高速道路でもなかなか上のギアに上げてくれず、物足りなさを感じる。対して、ガナドールマフラー装着時は、スムーズな発進や加速レスポンス、常用回転域での高いトルクなど、物足りなさが払拭され、ストレスは激減。快適性も格別。今回装着したのは、特徴的な見た目と実用性を両立する新作の左サイドダブル出し。ランクル250用のバーデックス4WD/SUVには、他にも左右4本出しなど、異なるルックスや求める性能が選べるラインアップを揃えているのも好印象だ。



LAND CRUISER
300 250 70
CUSTOM WORLD